

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千八百四十一號

昭和十六年七月十日(木)

海軍大臣官房

○ 辭 令

勳八等 桑原 義夫
第二遣支艦隊ニ於ケル業務ヲ囑託ス
但シ報酬年額參千圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
(十五^年海軍省)

大塚 正夫

第二遣支艦隊ニ於ケル業務ヲ囑託ス
但シ報酬年額貳千貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
(十五^年海軍省)

專賣局部長 永井 勻

海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金六拾圓ヲ贈與ス
海軍省事務囑託ヲ解ク

同 山田 鐵之助

海軍省事務ヲ囑託ス(以上六^年同)

專賣局參事 沼野 英不二

海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金六拾圓ヲ贈與ス
海軍省事務囑託ヲ解ク

海軍省事務ヲ囑託ス(以上六^年同) 友岡 武年

(各通)

海軍少將男爵 柴山 昌生
海軍大佐 松原 雅太
同 堤 政夫
同 市來 政章
同 竹田 六吉

海軍航空本部ニ於ケル部外航空指導ニ關スル事務囑託ヲ解ク(十六^年同)

海軍豫備中尉 瀧仲 孟雄
支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス(十六^年同) 梅澤 二郎

軍令部ニ於ケル調査事務ヲ囑託ス
但シ報酬年額千貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(五^年同)

海軍艦政本部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス 松下 壹雄

海軍公報(部内限) 第三千八百四十一號 昭和十六年七月十日

八八九

1878

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限勅任官待遇
ス遇ト

海南警備府ニ於ケル事務ヲ囑託ス 廣瀬 旗雄

但シ報酬年額千貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇ト
ス

軍令部ニ於ケル事務ヲ囑託ス(以上同) 陸軍少尉 松本 武雄

中華民國ニ於ケル外貨及材料物品準備購入費支拂ノ
爲臨時資金前渡官吏ヲ命ス 海軍主計大尉 前 中 貫

中華民國ニ於ケル材料物品準備購入費支拂ノ爲臨時
資金前渡官吏ヲ命ス(以上謂支出官 海軍省經理局
長)

海軍主計中佐 渡邊 秀秋
海軍大佐 水井 靜治(艦本)

海軍機關少佐 山上 實(同)

海軍造船大尉 有馬 正雄(同)

海軍特務少尉 佐伯 岩吉(七驅潛)

海軍機關特務少尉 前橋 宗義(同)

海軍豫備大尉 吉岡 茂松(同)

(通各)

海軍技師 米元 竹平(艦本監)

同 高橋 健次(同)

同 田坂 覺造(同)

第十七號驅潛艇審議委員ヲ命ス

海軍大佐 水井 靜治(艦本)

海軍機關大佐 塚野 晋(艦本監)

海軍機關少佐 山上 實(艦本)

海軍造船大尉 有馬 正雄(同)

海軍機關特務少尉 池田 万両(六驅潛)

海軍豫備大尉 名井 貢(同)

海軍技師 濱村 雅男(艦本監)

同 高橋 健次(同)

第十八號驅潛艇審議委員ヲ命ス

海軍中佐 田中 正雄(艦本)

(通各)

海軍大尉 中尾 小太郎(大立)

海軍機關中佐 山本 良材(艦本監)

海軍造船少佐 近藤 忠夫(艦本)

海軍機關特務少尉 吉村 穂榮(大立)

海軍技師 菅 繁義(艦本監)

同 上羽 助太郎(同)

電纜敷設艇大立審議委員ヲ命ス(以上同)海軍艦政

本部

海軍編修書記 石井規矩次
第一部第二課勤務ヲ命ス(海軍水路部)

○ 雜 款

○將旗移揚
第二遣支艦隊司令長官ハ七月七日將旗ヲ一時橋立ニ移揚セリ

○將旗復歸
第三根據地隊司令官ハ七月七日將旗ヲ西京丸ヨリ陸上司令部ニ復歸セリ

○代將旗移揚
第二十三航空戰隊司令官ハ七月七日代將旗ヲ高雄航空隊ニ移揚セリ

○代將旗復歸
第十二航空戰隊司令官ハ七月五日代將旗ヲ富士川丸ヨリ神川丸ニ復歸セリ

○司令驅逐艦復歸
第十九驅逐隊司令ハ七月六日司令驅逐艦ヲ綾波ニ復歸セリ

○郵便物發送先
沖繩海軍通信隊宛

當分ノ間
追テ速達郵便料ハ區域外ニ付留意相成度
沖繩縣島尻郡小祿村

○事務所設置
伊號第二十七潜水艦艇裝具事務所ヲ七月五日吳海軍工廠内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○特務艦早鞞行動豫定

地名	佐世保	徳山	徳山	徳山	佐世保
着	八月五日	八月十七日	八月二十七日	九月八日	九月十一日
發	七月二十九日	八月八日	八月十九日	九月三十日	九月十日

○特設運送船金龍丸行動豫定

地名	神戶	吳司	門崎	西戶	佐世保	長崎
着	七月五日	七月七日	七月八日	七月十日	七月十二日	七月十二日
發	七月四日	七月六日	七月七日	七月九日	七月十一日	七月十二日

海軍公報(部内限)第三千八百四十一號 昭和十六年七月十日

八九一

神戶	十四日	十四日
横須賀	十五日	十八日
大湊	二十日	二十一日
横須賀	二十三日	二十四日
佐賀保	二十六日	二十八日
舞鶴	二十九日	三十一日

○正誤
 昨九日雜報欄八八五頁五行「徵備船泊」ハ「徵用船舶」ノ誤

○艦船所在

印ハ「ハホ」ヲ指定ヲ要セズ

○七月十日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍崎▲、山城▲、陸奥▲、勝力▲、駒橋▲、澤風▲、沖風▲、滿潮▲

伊八▲

（翔鶴）▲、（津輕）▲、（伊二三）▲、（伊三三）▲、（伊三七）▲

【長浦】

伊嵐▲、萩風▲、呂六一▲、呂六二▲

哨一▲、哨二▲

尻矢▲

【石川島】

（驅潜一七）▲

【川崎】

多摩▲

【鶴見】

（驅潜一八）▲

【横濱】

綾波▲、鶴見▲

【浦賀】

（香椎）▲、（筑紫）▲

【館山灣】

濱風▲

【大湊】

石垣▲、（驅潜一五）▲、（驅潜一三）▲、（驅潜一四）▲、哨三四▲、哨三五▲

【吳】

北上▲、淺間▲、八雲▲、千代田▲、吳竹▲、早苗▲、若竹▲、夏潮▲、黑潮▲、峯雲▲、呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊五三▲

【下津】

早鞆▲、國後▲

【神戶】

（舞風）▲、（驅潜二一）▲、伊一一▲

【相生】

（瑞鶴）▲、（伊良湖）▲、（伊一〇）▲、（伊二二）▲、（伊二五）▲、（伊三三）▲、（伊四一）▲、（伊二二）▲、（驅潜一九）▲

【佐伯】

哨三一▲、哨三二▲、哨三三▲、吾妻▲、大井▲

【舞鶴】

薄雲▲、呂三四▲、伊五二▲、哨三六▲、哨三七▲

【佐世保】

（夕雲）▲、磐手▲、能登呂▲

松風▲、春風▲、呂三〇▲、呂三二▲、呂三三▲、呂三三▲、呂六〇▲、伊五九▲、伊六〇▲、驅潜一六▲

哨三八▲

敷島▲、佐多▲、知床▲、襟裳▲、（伊二四）▲、（伊二九）▲、（伊三九）▲

【古江】

峯風
 出雲、芙蓉、野分
 熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田
 足柄、八丈、占守、嵯峨、橋立、名取
 長門、日向、伊勢、扶桑、比叡、霧島
 榛名、金剛、阿武隈、川内、瑞鳳
 鳳翔、高雄、鳥海、愛宕、摩耶、加古
 衣笠、古鷹、青葉、妙高、那智、羽黒
 熊野、三隈、最上、鈴谷、利根、筑摩
 神通、那珂、長良、巖島、八重山
 長鯨、初鷹、白鷹、蒼鷹、鹿島、天龍
 龍田、沖島、常磐、夕張、迅鯨
 香取、大鯨、五十鈴、赤城、加賀
 蒼龍、飛龍、龍驤、神威、千歲
 瑞穂、鬼怒、由良、球磨
 栗、榎、蓮、刈萱、秋風、太刀風、羽風
 旗風、朝風、文月、阜月、水無月、長月
 菊月、夕月、卯月、夕風、三日月、月潮
 曙、隴、漣、響、曉、雷、電、白雲
 東雲、叢雲、初雪、白雪、吹雪、浦波
 磯波、敷波、夕霧、朝霧、天霧、狹霧
 若葉、初霜、子日、初春、白露、有明
 夕暮、時雨、大潮、荒潮、朝潮、早潮
 親潮、雪風、天津風、初風、時津風
 霰、陽炎、不知火、朝雲、山雲、夏雲
 夕立、五月雨、村雨、春雨、海風、江風
 山風、涼風、谷風、浦風、磯風、沙風

【航海中】

石廊戶	隱戶	木曾	朝日	櫻野	帆船、矢風、追風、疾風、夕風、朝風、望月、彌生、神風、沼風、波風、野風、鴻集、鴨、雁、雌、鳩、鷺、真鶴、初雁、友鶴、千鳥	
六月十五日	六月十五日	六月十五日	六月十五日	六月十五日	伊三、伊四、伊五、伊六、伊七、伊八、伊九、伊一〇、伊一一、伊一二、伊一三、伊一四、伊一五、伊一六、伊一七、伊一八、伊一九、伊二〇、伊二一、伊二二、伊二三、伊二四、伊二五、伊二六、伊二七、伊二八、伊二九、伊三〇、伊三一、伊三二、伊三三、伊三四、伊三五、伊三六、伊三七、伊三八、伊三九、伊四〇、伊四一、伊四二、伊四三、伊四四、伊四五、伊四六、伊四七、伊四八、伊四九、伊五〇、伊五一、伊五二、伊五三、伊五四、伊五五、伊五六、伊五七、伊五八、伊五九、伊六〇、伊六一、伊六二、伊六三、伊六四、伊六五、伊六六、伊六七、伊六八、伊六九、伊七〇、伊七一、伊七二、伊七三、伊七四、伊七五、伊七六、伊七七、伊七八、伊七九、伊八〇、伊八一、伊八二、伊八三、伊八四、伊八五、伊八六、伊八七、伊八八、伊八九、伊九〇、伊九一、伊九二、伊九三、伊九四、伊九五、伊九六、伊九七、伊九八、伊九九、伊一〇〇、伊一〇一、伊一〇二、伊一〇三、伊一〇四、伊一〇五、伊一〇六、伊一〇七、伊一〇八、伊一〇九、伊一一〇、伊一一一、伊一二二、伊一二三、伊一二四、伊一二五、伊一二六、伊一二七、伊一二八、伊一二九、伊一三〇	宗谷、室戸、鳴戸、攝津、野島

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第三千八百四十二號

昭和十六年七月十一日(金)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房第三七八〇號

元海軍豫備航空團ヨリ寄贈ノ船艇ヲ雜役船ニ編入シ其ノ船名(公稱番號)、船種、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十六年七月十一日

海 軍 大 臣

船名 (公稱番號)	船種	所屬	定數別	記	事
報國第(五)號 (牧野號)	内 火 艇 (六米)	霞ヶ浦海軍航空隊 (東京羽田分遣隊) (假稱用)	臨時附屬	墨田川造船所製造	
第一三八一號	同 (九米)			東京市大忠製作所製造	
報國第(本)號 (牧野號)	同 (六米)			墨田川造船所製造	
第一三八二號	同 (八米)			元特務艦青島還納	元海軍豫備航空團ヨリ寄贈ノモノ
第一一八一號	カ ッ タ (九米)			元軍艦球磨還納	
第一一八二號	同 (モト型)(三・五米)	鹿島海軍航空隊 (大津分遣隊) (假稱用)	臨時附屬	大津市桑野造船所製造	
第一一八三號	同 (同)				

海軍公報(部内限)第三千八百四十二號

昭和十六年七月十一日

八九五

1884

第一一八四號	同	馬	(同)
第四二八三號	傳	馬	(六米船)

元驅逐艦楠還納

○ 辭 令

海軍主計特務中尉 福場 坂二

海軍特務少尉 平松 芳雄

海軍一等兵曹 石渡 亨

同 瀧野 慶市

同 真崎 嘉市

海軍二等兵曹 板 健志

同 森 二三男

海軍二等看護兵曹 友澤 侯祐

海軍三等兵曹 内山 勝二

海軍一等水兵 林 信義

海軍一等看護兵 勢田 敏夫

海軍筆生 石井 佳

佛領印度支那及「タイ」國へ出張ヲ命ス(詰海軍省)

海軍技術會議議員 清 本 清

海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス(詰同)

海軍主計大佐 關 徳四郎
乘ヲ在長崎首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(詰海軍航空本部)

○ 雜 款

○將旗一時移揚

第三遣支艦隊司令長官ハ七月九日將旗ヲ一時替手ニ移揚セリ

第五根據地隊司令官ハ七月九日將旗ヲ一時勝泳丸ニ移揚セリ

○郵便物閉塞交換開始

特務艦尻矢北米方面行動中同艦ト横濱郵便局間ニ軍艦郵便ノ取扱ヲ行ハル

○事務所設置

横須賀海軍航空隊厚木分遣隊(假稱)設立準備委員事務所ヲ七月一日横須賀海軍航空隊整備練習部内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○艦船所在 印ハハホノ
指定ヲ要セズ

○七月十一日午前十時

【横須賀】春日▲劍埼▲山城▲陸奥▲勝力▲駒橋▲

多摩

澤風▲沖風

伊八▲

(翔鶴)▲(津輕)▲(伊二三)▲(伊三三)▲

伊三七

【長浦】▲萩風▲

呂六一▲呂六二▲

哨一▲哨二▲

尻矢

【石川島】(驅潜一七)▲

【鶴見】(驅潜一八)▲

綾波

鶴見

(香椎)▲(筑紫)▲

浦賀

(秋雲)▲

館山灣

濱風

石垣

呂潜一五▲呂潜一三▲呂潜一四▲

哨三四▲哨三五▲

大泊

【吳】北上▲淺間▲八雲▲千代田▲

呂五七▲呂五八▲呂五九▲呂五三▲

呂五七▲

吳竹▲早苗▲若竹▲夏潮▲黒潮▲

海軍公報(部内限)第三千八百四十二號

昭和十六年七月十一日

八九七

【下津】

早靱

(伊七六)▲

【大坂】

國後

(舞風)▲(驅潜二一)▲

伊一二▲

【神戸】

(瑞鶴)▲(伊良湖)▲(伊一〇)▲(伊二二)▲

(伊三五)▲(伊三一)▲(伊四二)▲(伊一一)▲

(驅潜一九)▲

【相玉】

(驅潜二〇)▲

哨三一▲哨三二▲哨三三▲

【佐伯】

吾妻▲大井▲木曾

薄雲▲

呂三四▲伊五二

哨三六▲哨三七▲

【佐世保】

磐手▲能登呂

松風▲春風▲

呂三〇▲呂三一▲呂三二▲呂三三▲

呂六〇▲呂五九▲呂六〇▲

哨三八

敷島▲佐多▲知床▲襟裳

(伊二四)▲(伊二九)▲(伊三九)▲

1886

古江 鎮海府 巖峯

芙蓉、野分

熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、八丈、占守、嵯峨、橋立、名取、日向、伊勢、扶桑、比叡、霧島、阿武隈、川内、瑞鳳、高野、愛宕、摩耶、加古、青葉、妙高、那智、三隈、最上、鈴谷、利根、熊野、那珂、長良、巖島、筑摩、神通、初鷹、蒼鷹、鹿島、天龍、龍田、沖島、常磐、夕張、迅鯨、香取、大鯨、五十鈴、赤城、加賀、蒼龍、飛龍、龍驤、神威、千歲、瑞穂、鬼怒、由良、球磨、栗、梅、蓮、刈萱、秋風、太刀風、羽風、旗風、朝風、文月、水無月、長月、菊月、卯月、夕風、三月月、湖

東雲、叢雲、初雪、吹雪、白雲、磯波、敷波、夕霧、朝霧、天霧、狹霧、若葉、初霜、子日、初春、白霧、有明、夕暮、時雨、大湖、荒潮、朝潮、早潮、親潮、雪風、天津風、初風、時津風、親湖、陽炎、不知火、霞、朝雲、山雲、夏雲、夕立、五月雨、村雨、春雨、海風、江風

山風、涼風、谷風、浦風、磯風、汐風、帆風、矢風、追風、疾風、夕風、朝風、陸月、如月、望月、彌生、神風、沼風、野風、波風、滿潮、鵜、雁、雉、鳩、鷺、鶺鴒、初雁、友鶴、千鳥、真鶴、呂六三、呂六四、呂六八、呂六五、呂六六、呂六七、呂七二、呂七三、伊四、伊五、伊六、伊七、伊九、伊一五、伊一六、伊一七、伊二〇、伊一八、伊一九、伊二二、伊二六、伊二七、伊六六、伊六七、伊七〇、伊六八、伊六九、伊七三、伊七四、伊七五、伊一二四、伊一二三、伊七四、伊七五、伊一二四、伊一二三、掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、掃一九、驅潛一、驅潛二、驅潛三、驅潛四、驅潛五、驅潛六、驅潛七、驅潛八、驅潛九、驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二、暗三九、明石、宗谷、室戶、鳴戸、攝津、野島、間宮、朝日

航海中

隱戸 (六月十五日吳發)「タラカン」へ
樞野 (八日吳發)「横須賀」へ

海軍公報

(部内限) 第三千八百四十三號

昭和十六年七月十二日(土)

海軍大臣官房

○令達

官房第五四五號ノ九
雜役船ノ所屬ヲ左ノ通變更ス
昭和十六年七月十二日

海軍大臣

(限 内 部)

公稱番號	船種	舊所屬	新所屬	定數	別記	記事
第四〇號	カッター (九米)	佐世保海軍 港務部保管	海軍工 作學校	定數 補正		臨時爲
第五九號	同	同	同	同		
第六九號	同	同	同	同		
第六六號	同	同	同	同		
第六六號	同	同	同	同		
官房第三七九九號						
吳海軍港務部及佐世保海軍港務部保管中ノ還納艇ヲ雜 役船ニ編入シ其ノ公稱番號、船種、所屬等ヲ左ノ通定						
公稱番號	船種	所屬	定數	別記	記事	
第二五號	カッター (九米)	海軍航海 學校	補正		軍艦古鷹還納ノモノ (C二五〇)	
第二七號	同	同	同		軍艦古鷹還納ノモノ (C二五三)	
第二七號	同	同	同		軍艦矢矧還納ノモノ (C二二三)	
第二六號	同	海軍工 作學校	同		軍艦矢矧還納ノモノ (C二二三)	
第二六號	同	同	同		同	(C二二三)
第二五號	同	同	同		同	(C二二三)
第二五號	同	同	同		同	(C二二三)
第二八號	同	同	同		特務艦佐多還納ノモノ (C五二二)	
第二八號	同	同	同		特務艦野島還納ノモノ (C五二二)	
第四三號	傳馬船 (八米)	同	同		軍艦矢矧還納ノモノ (K二一)	
第四三號	同	同	同		同	(K一六)
第四三號	同	同	同		同	(K一七)
第四三號	同	同	同		軍艦妙高還納ノモノ (K二三二)	

昭和十六年七月十二日
(臨時爲)

海軍大臣

海軍公報(部内限) 第三千八百四十三號

昭和十六年七月十二日

八九九

官房機密第六一七〇號

昭和十二年官房機密第四五二〇號第二號中「毎週前週分」ヲ「毎月前月分」ニ改ム

昭和十六年七月十二日

海軍大臣

參照 昭和十二年官房機密第四五二〇號ハ今次事變中支那方面派遣艦船部隊ニ於ケル兵器ノ亡失（棄却）及消耗報告ノ件ナリ、昭和十二年十一月二日海軍公報（部内限）

○通牒

經給第八七號

昭和十六年七月十二日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

支那ニ對スル旅費精算ニ關スル件通牒

昭和十四年經給第六六號ニ依リ旅費ノ概算拂ヲ受ケタル者赴任スベキ艦船移動ノ爲其ノ赴任旅行ニシテ本邦内ニ終リタル場合ノ旅費精算ハ其ノ實情ニ鑑ミ到著廳ニ於テ之ヲ爲スコトニ爾今取扱ヲ一定致候

航本機密第六八五二號

昭和十六年七月十日

海軍航空本部長
佐世保、廣、舞鶴海軍工廠長
海軍航空技術廠長殿
航空兵器修理材料供給ノ件通牒
航本機密第五五四號首題通牒年額八〇〇圓ノ項利根ノ次ニ「鳥海」ヲ加フ
（參照 昭和十六年六月九日海軍公報（部内限））

○辭令

海軍規格審議會議長ヲ命ス

- | | | |
|------|----|-----|
| 海軍中將 | 豐田 | 副武 |
| 海軍中將 | 御宿 | 好 |
| 海軍少將 | 松木 | 益吉 |
| 同 | 小林 | 仁 |
| 同 | 松浦 | 永次郎 |
| 同 | 伍賀 | 啓次郎 |
| 同 | 山縣 | 正郷 |
| 同 | 小澤 | 仙吉 |
| 同 | 岡 | 敬純 |
| 同 | 佐藤 | 源藏 |
| 同 | 保科 | 善四郎 |

同	同	同	同	同	同	同	海軍機關大佐	同	海軍少佐	同	同	同	同	同	同	海軍中佐	同	海軍大佐	海軍造機中將	海軍造船中將	海軍主計中將	海軍軍醫中將	同
古野博	大江秀三	佐伯甚七	片平琢治	藤田健六	渡邊瑞彦	多田力三	山香哲雄	愛甲文雄	寺嶋昌善	花田廣	平田勉	奥村新	小原尙	井土益三	久重一郎	福間忠哉	桑原重治	武井大助	中野太郎	細谷信三郎			

(各通)

海軍造兵少佐	海軍造兵中佐	同	海軍造兵大佐	海軍造機中佐	海軍造機大佐	同	海軍造船少佐	同	同	海軍主計中佐	海軍主計大佐	海軍藥劑大佐	海軍軍醫中佐	海軍機關少佐	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍機關中佐
安並三男	近藤俊雄	坂田守之	古川勇	下條英夫	近藤市郎	富田範郎	生野勝郎	小柏直衛	松田盛男	前川宗太郎	早川貞吉	清水辰太	有馬玄	山上實	河野不二	田中千春	梶谷憲雄	大友博	川内鎮敏	松永三郎			

1890

海軍規格審議會議員ヲ命ス		海軍規格審議會幹事ヲ命ス(以上 ^{以上} 海軍省)	
海軍造機中將	福間 忠 哉	同	大沼 正義
海軍中佐	小原 尙	海軍大佐	城島 高次(翔鶴)
海軍機關中佐	川内 鎮 敏	同	杉本 道雄(横 艦)
海軍藥劑大佐	清水 辰 太	同	堀江 義一郎(艦 本)
海軍造機中佐	下條 英 夫	海軍中佐	吉川 唯喜(翔 鶴)
海軍技師	齋藤 四 郎	同	山本 榮(空技廠)
同	田村 武 夫	同	曾田 隆宗(艦 本)
同	大沼 正 義	同	佐藤 佐(同)
同	大野 茂	同	長澤 浩(軍 令)
同	岡本 弘	同	内田 定五郎(航 本)
同	角田 治 郎	同	樋端 久利雄(軍 務)
同	山田 三 人	同	竹大 孝志(艦 本)
同	豐福 定 次	同	森 實(軍 令)
同	大島 小 市	海軍少佐	岡 嶋 孝(翔 鶴)
同	大谷 文 太郎	同	岡野 千代喜(同)
同	齋藤 四 郎	同	岩島 二三(艦 本)
同	松永 幸 一	海軍大尉	村田 重治(翔 鶴)
同	吉田 直	同	山口 信助(艦 本)
海軍造機少佐	永盛 義 夫	海軍機關大佐	大江 秀三(同)
海軍技師	吉田 直	同	三重野 定夫(横 艦)

<p>○普通軍事教育圖書 去ル六月中納庫セル普通軍事教育圖書左ノ如シ</p> <p>海軍公報(部内限)第三千八百四十三號 昭和十六年七月十二日 九〇三</p>	<p>○雜款</p> <p>海南海軍特務部經濟局長ヲ命ス 藤原喜代間</p> <p>海南海軍特務部衛生局長ヲ命ス 郡山 義夫</p> <p>海南海軍特務部局長ヲ命ス 下條 久馬一</p> <p>海軍技師 秀島 孜</p> <p>軍艦翔鶴審議委員ヲ命ス(海軍艦政本部)</p> <p>海軍主計大尉 脇水 利勝(同)</p> <p>海軍造船中佐 西島 亮二(艦本)</p> <p>海軍造船少佐 秋山 忠良(横廠)</p> <p>海軍機關大尉 坂口 酉太郎(翔鶴)</p> <p>海軍軍醫少佐 熊谷 好紀(同)</p> <p>同 上田 博(艦本)</p> <p>同 田中 千春(軍務)</p> <p>同 中川 武男(翔鶴)</p>	<p>海軍公文庫</p> <table border="1"> <tr> <th>圖書名</th> <th>標記番號</th> <th>類別</th> </tr> <tr> <td>昭和十四年海軍關係法令 五年戰爭 第二輯 上中下</td> <td>海軍省教普 第一四二二號B</td> <td>備品</td> </tr> <tr> <td>歷代御製集</td> <td>海軍省教普 第一四二八號</td> <td>備品</td> </tr> <tr> <td>海軍館大壁畫史</td> <td>海軍省教普 第一三九三號</td> <td>備品</td> </tr> <tr> <td>工業材料便覽 非金屬</td> <td>海軍省教普 第一四〇七號B</td> <td>備品</td> </tr> <tr> <td>日英圖解辭典</td> <td>海軍省教普 第一四二七號</td> <td>備品</td> </tr> <tr> <td>支那忠勇列傳 陸軍之部 第拾四卷</td> <td>海軍省教普 第一三四號拾四</td> <td>備品</td> </tr> <tr> <td>支那忠勇列傳 陸軍之部 第拾五卷</td> <td>海軍省教普 第一三四號拾五</td> <td>備品</td> </tr> <tr> <td>橫須賀、吳、佐世保、舞鶴鎮守府文庫共納庫</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○將旗復歸 第二遣支艦隊司令長官ハ七月十日將旗ヲ足柄ニ復歸セリ</p> <p>○司令驅逐艦一時變更 第四驅逐隊司令ハ七月九日司令驅逐艦ヲ一時風ヨリ萩 風ニ變更、同日復歸セリ</p> <p>○事務所設置</p>	圖書名	標記番號	類別	昭和十四年海軍關係法令 五年戰爭 第二輯 上中下	海軍省教普 第一四二二號B	備品	歷代御製集	海軍省教普 第一四二八號	備品	海軍館大壁畫史	海軍省教普 第一三九三號	備品	工業材料便覽 非金屬	海軍省教普 第一四〇七號B	備品	日英圖解辭典	海軍省教普 第一四二七號	備品	支那忠勇列傳 陸軍之部 第拾四卷	海軍省教普 第一三四號拾四	備品	支那忠勇列傳 陸軍之部 第拾五卷	海軍省教普 第一三四號拾五	備品	橫須賀、吳、佐世保、舞鶴鎮守府文庫共納庫		
圖書名	標記番號	類別																											
昭和十四年海軍關係法令 五年戰爭 第二輯 上中下	海軍省教普 第一四二二號B	備品																											
歷代御製集	海軍省教普 第一四二八號	備品																											
海軍館大壁畫史	海軍省教普 第一三九三號	備品																											
工業材料便覽 非金屬	海軍省教普 第一四〇七號B	備品																											
日英圖解辭典	海軍省教普 第一四二七號	備品																											
支那忠勇列傳 陸軍之部 第拾四卷	海軍省教普 第一三四號拾四	備品																											
支那忠勇列傳 陸軍之部 第拾五卷	海軍省教普 第一三四號拾五	備品																											
橫須賀、吳、佐世保、舞鶴鎮守府文庫共納庫																													

伊號第二十七潜水艦艇裝員事務所ヲ七月五日吳海軍工廠内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○事務所撤去
翔鶴艦裝員事務所ヲ七月五日撤去セリ

○特設運送艦寶洋丸行動豫定
地名 着

尼ヶ崎 七月十日 七月十日

神戶 七月十日 十二月

作業地 二十七

プロサンボー 八月八日 二十九日

徳山 八月八日 八月十一日

吳 十一月

○正誤

昨十一日令達欄官房第三七八〇號中末尾ノ「第四〇五五號」ハ「第四二八三號」ノ誤

○艦船所在

▲印ハ「六ホ」ノ
指定ヲ要セズ

○七月十二日午前十時
【横須賀】春日▲、劍崎▲、山城▲、陸奥▲、勝力▲、駒橋▲、
多摩▲、澤風▲、沖風▲、伊八▲、
檜野▲、(翔鶴)▲、(津輕)▲、(伊二三)▲、(伊三三)▲、
(伊三七)▲、
【長浦】(鳳)▲、(秋風)▲、
呂六一▲、呂六二▲、
哨一▲、哨二▲、
尻矢▲、
【石川島】(驅潜一七)▲、
【鶴見】(驅潜一八)▲、
綾波▲、鶴見▲、
【横濱】(香椎)▲、(筑紫)▲、
【浦賀】(秋雲)▲、
【館山灣】濱風▲、
【大湊】石垣▲、
呂潜一五▲、驅潜一三▲、驅潜一四▲、
哨三四▲、哨三五▲、
大泊▲、
【吳】北上▲、淺間▲、八雲▲、千代田▲、
呂吳竹▲、早苗▲、若竹▲、夏潮▲、黒潮▲、
峯雲▲

【大 阪】

呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、呂伊五三▲、
伊五四▲、伊五五▲、伊五八▲、呂伊二二▲、
呂掃一七▲、掃一八▲、
驅潜五一▲、驅潜五二▲、驅潜五三▲、
哨四六▲、
【日進】(伊二七)▲、(伊三五)▲、
(伊七六)▲、
國後▲、
【舞風】(驅潜二一)▲、
伊一二▲、
【瑞鶴】(伊良湖)▲、(伊一〇)▲、(伊二二)▲、
伊二五▲、(伊三三)▲、(伊四一)▲、(伊一一)▲、
【驅潜一九】▲、
【驅潜二〇】▲、
哨三一▲、哨三二▲、哨三三▲、
吾妻▲、大井▲、木曾▲、
薄雲▲、
呂三四▲、伊五二▲、
哨三六▲、哨三七▲、
【夕雲】▲、
磐手▲、能登呂▲、
松風▲、春風▲、
呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲、
呂六〇▲、呂伊五九▲、伊六〇▲、
驅潜一六▲、
哨三八▲、
敷島▲、佐多▲、知床▲、襟裳▲、
伊二四▲、(伊二九)▲、(伊三九)▲

【神 戸】

【相 生】

【佐 世 保】

【舞 鶴】

【佐 伯】

【舞 鶴】

【佐世保】

海軍公報(部内限)第三千八百四十三號

昭和十六年七月十二日

九〇五

1894

古江鎮海府
峯風 朝顔
芙蓉 野分

出雲、宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、岡田、足柄、八丈、占守、嵯峨、橋立、名取、長門、日向、伊勢、扶桑、比叡、霧島、榛名、金剛、阿武隈、川内、瑞鳳、鳳翔、高雄、鳥海、愛宕、摩耶、那智、衣笠、古鷹、青葉、妙高、那智、熊野、三隈、最上、鈴谷、利根、筑摩、神通、那珂、長良、嚴島、八重山、長鯨、初鷹、白鷹、蒼鷹、鹿島、天龍、龍田、沖島、常磐、夕張、迅鯨、香取、大鯨、五十鈴、赤城、加賀、蒼龍、飛龍、龍驤、神威、千歲、瑞穂、鬼怒、山良、球摩、栗、梅、蓮、刈萱、秋風、太刀風、羽風、旗風、朝風、文月、皋月、水無月、長月、菊月、夕月、卯月、夕風、三日月、白潮、曙、朧、漣、響、曉、雷、電、白雲、東雲、叢雲、初雪、白雪、吹雪、浦波、磯波、敷波、夕霧、朝霧、天霧、狹霧、若葉、初霜、子日、初春、白露、有明、夕暮、時雨、大潮、荒潮、朝潮、早潮、親潮、雪風、天津風、初風、時津風、夜、陽炎、不知火、霞、朝雲、山雲、夏雲、夕立、五月雨、村雨、春雨、海風、江風

航海中
隱戸 (六月十五日吳發「タラカン」)
早鞆 (十一日下津發「佐世保」)

山風、涼風、山谷風、浦風、磯風、沙風、帆風、矢風、追風、疾風、夕風、朝風、陸月、如月、望月、彌生、神風、沼風、野風、波風、滿潮
野鶴、鴻、隼、鴨、雁、雉、鳩、鷺、真鶴、初雁、友鶴、千鳥
呂六三、呂六四、呂六八、呂六五、呂六六、呂六七、呂七二、呂七三、呂七四、呂七五、呂七六、呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、呂九九、呂一〇〇
伊一五、伊一六、伊一七、伊二〇、伊一八、伊一九、伊二二、伊二六、伊二七、伊二八、伊二九、伊三〇、伊三一、伊三二、伊三三、伊三四、伊三五、伊三六、伊三七、伊三八、伊三九、伊四〇、伊四一、伊四二、伊四三、伊四四、伊四五、伊四六、伊四七、伊四八、伊四九、伊五〇、伊五一、伊五二、伊五三、伊五四、伊五五、伊五六、伊五七、伊五八、伊五九、伊六〇、伊六一、伊六二、伊六三、伊六四、伊六五、伊六六、伊六七、伊六八、伊六九、伊七〇、伊七一、伊七二、伊七三、伊七四、伊七五、伊七六、伊七七、伊七八、伊七九、伊八〇、伊八一、伊八二、伊八三、伊八四、伊八五、伊八六、伊八七、伊八八、伊八九、伊九〇、伊九一、伊九二、伊九三、伊九四、伊九五、伊九六、伊九七、伊九八、伊九九、伊一〇〇
驅一、驅二、驅三、驅四、驅五、驅六、驅七、驅八、驅九、驅一〇、驅一一、驅一二、驅一三、驅一四、驅一五、驅一六、驅一七、驅一八、驅一九、驅二〇、驅二一、驅二二、驅二三、驅二四、驅二五、驅二六、驅二七、驅二八、驅二九、驅三〇、驅三一、驅三二、驅三三、驅三四、驅三五、驅三六、驅三七、驅三八、驅三九、驅四〇、驅四一、驅四二、驅四三、驅四四、驅四五、驅四六、驅四七、驅四八、驅四九、驅五〇、驅五一、驅五二、驅五三、驅五四、驅五五、驅五六、驅五七、驅五八、驅五九、驅六〇、驅六一、驅六二、驅六三、驅六四、驅六五、驅六六、驅六七、驅六八、驅六九、驅七〇、驅七一、驅七二、驅七三、驅七四、驅七五、驅七六、驅七七、驅七八、驅七九、驅八〇、驅八一、驅八二、驅八三、驅八四、驅八五、驅八六、驅八七、驅八八、驅八九、驅九〇、驅九一、驅九二、驅九三、驅九四、驅九五、驅九六、驅九七、驅九八、驅九九、驅一〇〇
明石、宗谷、室戸、鳴戸、攝津、野島、問宮、朝日

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千八百四十四號

海軍大臣官房

昭和十六年七月十四日(月)

○令 達

官房機密第一五號ノ九一

昭和十六年七月十二日

海 軍 大 臣

横須賀、吳、鎮守府司令長官
佐世保、舞鶴、大湊、鎮海、馬公要港部司令官 殿

兵器簿ノ件通達

兵器簿整備長主管ノ部中「増設タンク 落下式」ハ外戦
部隊ニ限リ之ヲ消耗品扱トスルコトヲ得

通達先

聯合艦隊、第二、第三、第四、第六艦隊各
司令長官、第一、第十一航空艦隊各司令長

官、支那方面艦隊、第一、第二、第三遣支

艦隊各司令長官

○通 牒

官房第三八〇三號

昭和十六年七月十二日

海 軍 省 副 官

各 應 長 殿

第四海軍建築部東京支部ノ呼稱ニ關スル件
通牒

機密保持並ニ事務處理ノ便宜上自今第四海軍建築部東
京支部ヲ芝浦海軍建築支部ト呼稱シ得ルコトニ定メラ
レ候

官房機密第六二二一號

昭和十六年七月十四日

海 軍 省 副 官

關 係 各 應 長 殿

非公共用石岡飛行場使用開始ニ關スル件
通知

首題ニ關シ別紙ノ通航空局ヨリ通知アリタルニ付了知
相成度

海軍公報(部内限) 第三千八百四十四號

昭和十六年七月十四日

九〇七

1896

(別紙)
空保第二七七號

昭和十六年六月七日

航空局長官

海軍次官殿

非公共用石岡飛行場使用開始ニ關スル件

今般首題飛行場竣功致候ニ付大日本飛行協會ニ對シ昭和十六年六月七日以降左記一ノ條件ニ依リ使用方許可相成候條御了知相成度

追而航空法施行規則第八十八條ノ規定ニ依ル告示ハ都合ニ依リ之ヲ爲サズ本通牒ヲ以テ告示ニ代ヘタルニ付本飛行場概要ハ左記ニ依リ御了知相成度爲念申添候

記

一、飛行場使用條件

(一) 石岡飛行場ヲ使用スル飛行機並ニ滑空機ノ行動區域ハ羽鳥驛及足尾山(六二七米)ヲ通ズル線以南、常盤線鐵道線路以西並ニ石岡驛及常陸北條驛ヲ通ズル線以北ニ於テ高度四百米以下トス
但シ高度四百米以上ノ飛行又ハ滑空ハ豫メ第十一聯合航空隊ノ同意ヲ得テ之ヲ實施スルコトヲ得

二、飛行場概要

- (一) 設置ノ目的 非公共用
- (二) 經營者ノ氏名 財團法人大日本飛行協會
東京市芝區田村町二丁目三番地
- (三) 用地所有者ノ氏名 財團法人大日本飛行協會
東京市芝區田村町一丁目三番地
又ハ名稱及住所 東京市芝區田村町一丁目三番地
- (四) 飛行場名及所在地 大日本飛行協會石岡飛行場
茨城縣新治郡石岡町字平ノ木
- (五) 海軍ニ於テ空中管制ノ必要上本飛行場ニ對シ一時飛行停止又ハ滑空停止ノ要求アル場合ハ直ニ之ニ應ズルヲ要ス
- (六) 前各項ノ詳細ニ關シテハ第十一聯合航空隊ノ定ムル所ニ依ル
- (七) 本飛行場ニ於テ使用シ得ヘキ飛行機ハ練習機及ソアラ―曳航用飛行機程度ニ限ルモノトス

<p>(五) 陸上、水上又ハ水陸兩用飛行場ノ別面積及地形</p> <p>陸上飛行場 總面積 二七〇、七五九坪</p> <p>滑走區域 東北東八五〇米</p> <p>滑走區域ノ地表面ハ野芝密生シ概ネ平坦ナルモ南ヨリ北ヘ若干ノ勾配ヲ以テ傾斜ス</p>	<p>(七) 恒風位</p> <p>夏期概ネ北風又ハ南風、冬期概ネ北東風</p>	<p>(八) 設備ノ概要</p> <p>格納庫(奥行約三米) 三</p> <p>事務所</p> <p>宿舎</p> <p>炊事場等</p> <p>整備場</p> <p>倉庫</p> <p>車庫</p>	<p>(九) 設置期間</p> <p>自昭和十六年六月三日 至昭和二十六年六月二日</p>
<p>軍務一機密第四九二號</p> <p>昭和十六年七月十四日</p>			
<p>海軍省軍務局長</p>			
<p>内令提 要登載</p>			
<p>關係各廳長殿</p>			
<p>滑空機ニ關スル件申進</p>			
<p>滑空機ノ性格、種別及滑空實施ニ伴フ恩賞、給與上ノ取扱其ノ他ニ關シ當分ノ間左記方針ニ依リ處理スルコトニ定メラレ候條了知相成度</p>			
<p>記</p>			
<p>一、滑空機ノ性格、種別</p>			
<p>(一) 滑空機ハ之ヲ海軍航空機トス</p>			
<p>(二) 海軍滑空機ハ之ヲ左ノ三種ニ區分ス</p>			
<p>(イ) 上級機(ソワラー)</p>			
<p>(ロ) 中級機(セカンダリー)</p>			
<p>(ハ) 初級機(プライマリー)</p>			
<p>二、滑空實施ニ伴フ恩賞、給與ノ取扱</p>			
<p>滑空ノ實施ヲ航空勤務トシ左ノ恩典ハ原則トシテ之ヲ認ムルモ之ガ適用ニ關シテハ事實ノ内容ニ就キ詮議スルモノトス</p>			
<p>(イ) 特別敍勳</p>			
<p>(ロ) 祭料</p>			
<p>(ハ) 一時賜金</p>			
<p>(ニ) 保護賜金</p>			
<p>(ホ) 增加恩給</p>			

海軍公報(部内限) 第三千八百四十四號

昭和十六年七月十四日

九〇九

1898

恩給加算

(ト)(ヘ) 航空加俸(但シ日額乙トシ初級機ヲ除ク)

三、滑空機ノ供用

(一) 供用目的

(イ) 海軍兵學校生徒及飛行豫科練習生ノ航空術豫備教育及適性檢査用

(ハ)(ロ) 滑空術ノ研究訓練

(ニ) 滑空機ノ研究實驗

(二) 供用先

(イ) 岩國海軍航空隊、土浦海軍航空隊其ノ他特ニ必要ト認ムル海軍航空隊

(ロ) 實驗研究又ハ訓練上必要ト認ムル應供用機種及機數

(三) 研究ノ上別ニ之ヲ定ム

四、滑空ニ關スル規程

(一) 差當リ昭和十二年遞信省令第四十號滑空機規則並ニ文部省制定滑空訓練教程草案ヲ準用ス

(二) 所轄長ハ滑空内規ヲ制定シ所屬ノ鎮守府司令長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ實施スルモノトス

鎮守府司令長官ハ之ヲ認可スルニ先チ海軍大臣ノ承認ヲ經ルヲ要ス

五、渉外事項ニ關スルコト

(一) 滑空機ノ供用ヲ受ケタル各廳長ハ滑空ニ關スル研究調査ノ爲部外ト連絡スルコトヲ得

(二) 海軍航空隊ハ其ノ任務遂行上又ハ機密保持等ニ支障ナキ範圍ニ於テ部外滑空團體ニ對シ飛行場(建築物ヲ含マス)ノ使用ヲ許可スルコトヲ得

艦本機密第一號ノ六四〇六

昭和十六年内令兵第四十二號火藥火工兵器取扱規則ノ別表ヲ別冊ノ通定ム

別冊ハ所要ノ向ニ之ヲ配付ス
昭和十六年七月十二日

海軍艦政本部長 豊田 副武

〇 辭 令

海軍少將 高須 三二郎(艦本)

伊號第二十一潜水艦審議(除航空關係)委員ヲ命ス

海軍中將 浮田 秀彦

伊號第二十一潜水艦審議(除航空關係)委員ヲ免ス

(以上五七〇海軍艦政本部)

○雜款

○試驗問題發送

第十四期高等科航空兵器術〔練習生採用試驗問題〕
第十七期普通科航空兵器術

右七月四日左記ノ通發送濟、未着又ハ別ニ必要ノ向ハ
至急通知相成度

記

一、單獨試驗施行豫定ノ各部ニハ直送

二、聯合試驗用ノモハ各海軍人事部長宛送付（聯合
試驗參加豫定ノ艦船ニシテ豫定變更ノ爲聯合試驗參
加不能ノ向ニ對スル分トシテ若干ノ餘裕ヲ含ム）
（横須賀海軍航空隊）

○本日普通公報發行セズ

1900

○艦船所在

▲印ハハホノ
指定ヲ要セズ

○七月十四日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍埼▲、山城▲、陸奥▲、勝力▲、駒橋▲、
多摩▲、澤風▲、沖風▲、伊八▲、
櫻野▲

伊八▲

【長浦】
區嵐▲、萩風▲、
伊三七▲、
伊三三▲、伊三三▲

【石川島】

尻矢▲

横濱▲

鶴見▲

綾波▲

鶴見▲

香椎▲

秋雲▲

浦賀▲

館山灣▲

大湊▲

石垣▲

伊三五▲

伊三三▲

伊三三▲

伊三三▲

伊三三▲

伊三三▲

伊三三▲

伊三三▲

伊三三▲

伊三三▲

伊三三▲

伊三三▲

伊三三▲

伊三三▲

伊三三▲

伊三三▲

伊三三▲

海軍公報(部内限)第三千八百四十四號

昭和十六年七月十四日

九一三

【大阪】

國後

伊七六▲

伊二七▲

伊三五▲

伊二七▲

伊三五▲

伊二七▲

伊三五▲

伊二七▲

伊三五▲

伊二七▲

伊三五▲

伊二七▲

伊三五▲

伊二七▲

伊三五▲

伊二七▲

伊三五▲

伊二七▲

伊三五▲

伊二七▲

伊三五▲

伊二七▲

伊三五▲

伊二七▲

伊三五▲

伊二七▲

伊三五▲

伊二七▲

伊三五▲

伊二七▲

1901

【古江】 峯風
【鎮海】 野分
【羅府】 石廊
【作業地】 出雲、

熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、
 足柄、八丈、占守、嵯峨、橋立、名取、
 長門、日向、伊勢、扶桑、比叡、霧島、
 榛名、金剛、阿武隈、川内、瑞鳳、
 鳳翔、高雄、鳥海、愛宕、摩耶、加古、
 衣笠、古鷹、青葉、妙高、那智、羽黑、
 熊野、三隈、最上、鈴谷、利根、筑摩、
 神通、那珂、長良、嚴島、八重山、
 長鯨、初鷹、白鷹、蒼鷹、鹿島、天龍、
 龍田、沖島、常磐、夕張、迅鯨、
 香取、大鯨、五十鈴、赤城、加賀、
 蒼龍、飛龍、龍驤、神威、千歲、
 瑞穂、鬼怒、由良、球磨、磐手、
 栗、梅、連、刈萱、秋風、太刀風、羽風、
 旗風、朝風、文月、皐月、水無月、長月、
 菊月、夕月、卯月、夕風、三日月、月潮、
 曙、朧、漣、響、曉、雷、電、白雲、
 東雲、叢雲、初雪、白雪、吹雪、浦波、
 磯波、敷波、夕霧、朝霧、天霧、狹霧、
 若葉、初霜、子日、初春、白露、有明、
 夕暮、時雨、大潮、荒潮、朝潮、早潮、
 親潮、雪風、天津風、初風、時津風、
 霞、陽炎、不知火、霞、朝雲、山雲、夏雲、
 夕立、五月雨、村雨、春雨、海風、江風、

【航海中】

早朝

（六月十五日與發「タラカン」）
（十一日下津發「佐世保」）

山風、涼風、谷風、浦風、磯風、沙風、
 帆風、矢風、追風、疾風、夕風、朝風、
 野風、波風、滿潮、彌生、神風、沼風、
 野鶴、鴻、隼、鵜、雁、雉、鳩、鷺、
 眞鶴、初雁、友鶴、千鳥、
 呂六三、呂六四、呂六八、呂六五、
 呂六六、呂六七、伊二、伊一、伊三、
 伊四、伊五、伊六、伊七、伊九、
 伊一五、伊一六、伊一七、伊二〇、
 伊一八、伊一九、伊二二、伊二六、
 伊二七、伊六一、伊六二、伊六四、
 伊六五、伊六六、伊七〇、伊六八、
 伊六九、伊七三、伊七一、伊七二、
 伊七四、伊七五、伊一二四、伊一二三、
 伊七六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、
 掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、
 掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、掃一九、
 驅潛一、驅潛二、驅潛三、驅潛四、
 驅潛五、驅潛六、驅潛七、驅潛八、
 驅潛九、驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二、
 哨三九、
 明石、宗谷、室戶、鳴戶、攝津、野島、
 間宮、朝日、

廢(限) 内 (部)

海軍公報 (部内限) 第三千八百四十五號

昭和十六年七月十五日(火)

海軍大臣官房

○令達

官房機密第六二一〇號

本年官房機密第六〇八四號特設水上機母艦能代丸改名ノ際現ニ同艦ノ職員タル者ハ別ニ辭令ヲ用ヒズシテ能代川丸ノ各相當職員ニ補命セラレタル義ト心得ベシ
昭和十六年七月十日

海軍大臣

官房機密第六二五二號

昭和十八年官房機密第六二九二號ニテ本號廢止

當分ノ間第四海軍建築部東京支部ニ於テ要スル契約ニ付テハ昭和十五年官房機密第八一七二號ノ規定ニ拘ラズ同支部長ヲ以テ契約擔任官トス

昭和十六年七月十五日

海軍大臣

参照 昭和十五年官房機密第八一七二號ハ特設機關ニ於ケル契約擔任區分ノ件ナリ

○通牒

軍務一機密第五〇六號

昭和十六年七月十五日

海軍省軍務局長

内令提
要登載

關係各廳長
各監理長
各監查長 殿

部外學生ノ實習報告書ニ關スル件申進

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通文部次官宛照會致候條實習報告書ハ關係官ニ於テ査閱ノ上提出セシムル様取計相成度

(別紙)

官房機密第六〇六六號

昭和十六年七月十日

海軍次官

文部次官殿

工場實習報告書ノ取扱ニ關スル件照會

海軍公報 (部内限) 第三千八百四十五號

昭和十六年七月十五日

九一五

1903

各大學、實業専門學校等ノ在學者ニシテ休暇中海軍工廠或ハ海軍管理工場監督工場ニ於ケル實習ヲ許可セラレタル者多數有之候處從來該實習者ノ實習報告書中相當ノ機密事項ヲ記載シタルモノ有之防諜上寒心ニ堪ヘザル次第ニ候條自今實習報告書ハ實習工場ニ於テ關係海軍官憲ノ査閲ヲ受ケタル上提出セシムル様取計フト共ニ實習者ノ報告書作製ノ爲ノ原稿資料等ハ散逸セザル様防遏セラレ度尙學校側ニ於ケル右報告書ノ一部別紙ノ通漏泄シタル事實ヲ認メラレ候ニ付其ノ取扱ハ慎重留意相成査閲後焼却スル等機密保持上遺憾ナキヲ期

セシメラルル様示達相成度
(別紙略)

經給第八八號

昭和十四年經給第六六號中左ノ通改正ス

昭和十六年七月十五日

海軍省經理局長

別表中佐世保上海間甲額ヲ左ノ如ク改ム

甲	170	141	114	110	102	90	57	27
---	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	----

同表ニ左ノ如ク加フ

東京 (横須賀)	海 口	甲	427	361	318	306	281	243	150	129	門司ヨリ 航路
		乙	266	204	161	150	126	108	62	44	
	三 亞	甲	478	408	364	351	320	283	176	133	"
		乙	281	215	169	158	133	114	66	48	
吳	海 口	甲	395	332	291	280	261	226	136	119	門司ヨリ 航路
		乙	221	167	127	119	101	87	45	32	
	三 亞	甲	436	370	327	315	295	261	158	141	"
		乙	236	177	135	126	107	93	49	35	

1904

佐世保	海口	甲	383	323	284	273	255	225	134	117	2918	門司ヨリ航路
		乙	186	139	104	97	81	71	30	22		
	三距	甲	424	361	320	309	290	258	156	139		
		乙	201	150	112	104	87	76	34	25	3112	"

舞鶴	海口	甲	412	349	308	296	272	239	144	125	3412	門司ヨリ航路
		乙	238	183	144	135	113	98	53	38		
	三距	甲	453	386	344	332	307	272	167	147		
		乙	252	194	152	143	119	103	57	41	3607	"

大	海口	甲	466	392	345	331	300	264	165	140	4422	門司ヨリ航路
		乙	303	233	185	173	143	125	74	54		
	三距	甲	507	429	381	366	334	297	187	162		
		乙	317	244	193	181	149	130	78	57	4617	"

鏡	海口	甲	393	334	296	285	267	230	139	119	3050	門司經由航路
		乙	186	139	104	97	81	71	30	22		
	三距	甲	444	382	342	330	306	268	164	143		
		乙	201	150	112	104	87	76	34	25	3244	"

1905

馬	海	甲	328	271	233	223	211	193	117	104	1898	基隆ヨリ航路
	口	乙	122	92	65	60	52	45	12	9		
公	三	甲	369	308	268	258	245	227	119	106	2093	"
		乙	122	92	65	60	52	45	12	9		

旅	海	甲	386	324	284	273	253	238	132	122	2986	大連ヨリ航路
	口	乙	201	150	112	104	87	76	34	25		
順	三	甲	427	361	320	308	287	272	155	144	3180	"
		乙	215	161	120	112	93	81	38	28		

高	海	甲	317	260	222	212	201	187	111	100	1758	基隆ヨリ航路
	口	乙	122	92	65	60	52	45	12	9		
雄	三	甲	358	298	258	248	235	221	133	122	1952	"
		乙	122	92	65	60	52	45	12	9		

参照 昭和十四年経給第六六號ハ支那ニ對スル旅費ノ特例ニ關スル件ナリ

歸セリ

○雜款

○將旗復歸
第五根據地隊司令ハ七月十二日將旗ヲ陸上司令部ニ復

○代將旗掲揚
横須賀防備戰隊司令官ハ七月九日代將旗ヲ多摩ニ掲揚セリ

○艦船所在

指印ハハホニノ
指定ヲ要セズ

○七月十五日午前十時

【横須賀】春日▲、劍崎▲、山城▲、陸奥▲、勝力▲、駒橋▲

多摩

澤風▲

伊八▲

【翔鶴】▲、(津輕)▲、(伊二三)▲、(伊三三)▲

(伊三七)▲

【長浦】風▲、萩風▲

呂六一▲、呂六二▲

哨一▲、哨二▲

尻矢

【石川島】(驅潜一七)▲

【鶴見】(驅潜一八)▲

綾波

鶴見

【香椎】▲、(筑紫)▲

【浦賀】▲

【館山灣】▲

【大湊】▲

石垣▲

呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲、呂三四▲、呂三五▲

哨三四▲、哨三五▲

【吳】▲

北上▲、淺間▲、八雲▲、千代田▲、鬼怒▲

熊野▲、三隈▲、最上▲、鈴谷▲

吳竹▲、早苗▲、若竹▲、夏潮▲、早潮▲、峯雲▲、夕立▲

呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、呂六〇▲、呂六一▲、呂六二▲、呂六三▲、呂六四▲、呂六五▲、呂六六▲、呂六七▲、呂六八▲、呂六九▲、呂七〇▲、呂七一▲、呂七二▲、呂七三▲、呂七四▲、呂七五▲、呂七六▲、呂七七▲、呂七八▲、呂七九▲、呂八〇▲、呂八一▲、呂八二▲、呂八三▲、呂八四▲、呂八五▲、呂八六▲、呂八七▲、呂八八▲、呂八九▲、呂九〇▲、呂九一▲、呂九二▲、呂九三▲、呂九四▲、呂九五▲、呂九六▲、呂九七▲、呂九八▲、呂九九▲、呂一〇〇▲

伊七四▲、伊七五▲

掃一七▲、掃一八▲

驅潜五一▲、驅潜五二▲、驅潜五三▲

哨四六▲

攝津

【日進】▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲

(伊七六)▲

國後

【大阪】(舞風)▲、(驅潜二一)▲

【神戸】伊一二一▲

瑞鶴▲、(伊良湖)▲、(伊一〇〇)▲、(伊一二)▲

伊三五▲、(伊三二)▲、(伊四二)▲、(伊二二)▲

【相玉】(驅潜一九)▲

【佐伯】(驅潜二〇)▲

吾妻▲、大井▲、木曾▲

薄雲▲

呂三四▲

哨三六▲、哨三七▲

【夕雲】▲

那智

松風▲、春風▲、(朝顔)▲、芙蓉▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲

呂六〇▲、(伊五九)▲、(伊六〇)▲

驅潜一六

哨三八

【佐世保】

海軍公報(部内限)第三千八百四十五號

昭和十六年七月十五日

九一九

1907

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千八百四十六號

昭和十六年七月十六日(水)
海軍大臣官房

○令 達

官房機密第六二四六號
臨時軍事費特別會計歲出科目中左ノ通追加ス
昭和十六年七月十五日

海 軍 大 臣

款	項	目	節	會計科目 電信略號
(臨時 軍事費)	(臨時 軍事費)	貨幣交換 差減		ク五リ

○辭 令

(各通)
海軍大尉 竹添 善雄
海軍軍醫中佐 廣川 濟
昭和十六年七月及八月施行ノ海軍兵學校海軍機關學
校及海軍經理學校生徒採用試験臨時委員ヲ命ス

○雜 款

○旗艦變更
第一航空艦隊司令長官ハ七月十三日旗艦ヲ加賀ニ變更
セリ
○司令驅逐艦變更
第二驅逐隊司令ハ七月十三日司令驅逐艦ヲ夕立ヨリ村
雨ニ變更セリ

(各通)
海軍少佐 成澤 千直
海軍軍醫少佐 早川 美智雄
同 横尾 孝男
同 渡邊 勝雄
海軍軍醫大尉 高橋 久雄
昭和十六年七月及八月施行ノ海軍兵學校海軍機關學
校及海軍經理學校生徒採用試験臨時委員ヲ免ス(以
上^{七五}海軍省)
海軍書記 竹下 明
總務部第二課勤務ヲ命ス(七^五海軍航空本部)

海軍公報(部内限) 第三千八百四十六號

昭和十六年七月十六日

九二二

1909

○司令驅逐艦一時變更
第三十二驅逐隊司令ハ七月九日司令驅逐艦ヲ一時芙蓉ニ變更、同日朝顔ニ復歸セリ

第五驅逐隊司令ハ七月十三日司令驅逐艦ヲ一時旗風ヨリ朝風ニ變更セリ

○郵便物發送先
筑紫艦裝員宛及給與通牒等ノ書類ハ左記ニ送付相成度

記
横濱市中區緑町三丁目
三菱横濱船渠内

筑紫艦裝員事務所

同一艦名ノモノアリ自今本艦宛ノ郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

記
佐世保郵便局氣付 軍艦春日丸
(軍艦春日丸)

廣東方面特別根據地隊外村部隊宛

自今 佐世保郵便局氣付

○事務所撤去
香椎艦裝員事務所ヲ七月十五日撤去セリ

○練習生採用試験問題發送
第二期館山海軍砲術學校高等科砲術練習生採用試験問題

右七月八日左記ノ通發送濟、未着ニシテ別ニ必要ノ向ハ館山海軍砲術學校へ至急御通知相成度

記

- 一 單獨試驗施行豫定ノ各部ニハ直送セリ
- 二 聯合試驗用ノモノハ各人事部及各要港部宛送付
- 三 聯合試驗參加豫定ノ艦船ニシテ行動豫定變更ノ爲聯合試驗參加不能ノ向ニ對スル分トシテ前記宛單獨試驗用若干部送付シ置ケリ

(館山海軍砲術學校)

○特務艦襟裳行動豫定

地名 着 發

佐世保 七月十四日

吳作業地 九月三日

1910

○艦船所在

▲印ハハキ
指定ヲ要セズ

○七月十六日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍崎▲、山城▲、陸奥▲、勝力▲、駒橋▲、多摩▲、赤城▲、香椎▲、澤風▲

伊八▲

(翔鶴)▲、(津輕)▲、(伊二三)▲、(伊三三)▲、(伊三七)▲

【長浦】

呂六一▲、呂六二▲、哨一▲、哨二▲

【石川島】

(驅潜一七)▲、(驅潜一八)▲

【鶴見】

綾波▲

【浦賀】

(筑紫)▲、(秋雲)▲

【館山灣】

石垣▲、(驅潜一五)▲、(驅潜一三)▲、(驅潜一四)▲、哨三四▲、哨三五▲

【大湊】

大泊▲

【吳】

北上▲、淺間▲、八雲▲、千代田▲、鬼怒▲、熊野▲、三隈▲、最上▲、鈴谷▲、吳竹▲、早苗▲、若竹▲、夏潮▲、黒潮▲、峯雲▲、夕立▲、呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊五三▲

【大阪】

攝津▲、(日進)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲、(伊七六)▲、國後▲、(驅潜二一)▲、伊一一▲

【神戸】

瑞鶴▲、(伊良湖)▲、(伊一〇)▲、(伊二五)▲、(伊三一)▲、(伊四一)▲、(伊一一)▲、(驅潜一九)▲、(驅潜二〇)▲

【相生】

哨三一▲、哨三二▲、哨三三▲、吾妻▲、大井▲、木曾▲、薄雲▲

【佐伯】

呂三四▲、哨三六▲、哨三七▲、(夕雲)▲、那智▲

【佐世保】

松風▲、春風▲、(朝顔)▲、芙蓉▲、呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲、呂六〇▲、伊五九▲、伊六〇▲、(驅潜一六)▲、哨三八▲

敷島▲、佐多▲、知床▲、襟裳▲、早鞆▲

1911

海軍公報(部内限)第三千八百四十六號

昭和十六年七月十六日

九二三

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千八百四十七號

昭和十六年七月十七日(木)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第六三〇八號

本年官房機密第三八二號別表第二備考二中「第一及海南海軍經理部支部長」ヲ「第一及海南海軍經理部ノ支部勤務ノ經理部部員」ニ改ム

昭和十六年七月十六日

海軍大臣

官房第三八四三號

當分ノ間生獸魚肉、黃雙及鹽ノ基本食量額ハ海軍給與令施行細則第二十表及第二十表ノ二ノ規定ニ拘ラズ左ノ區分ニ依リ給與スベシ
本令實施中ハ生獸魚肉ニ限リ第二十表備考第二號及第二十表ノ二備考第二號ノ規定ヲ適用セズ
本令ハ昭和十六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス
昭和十六年七月十六日

海軍大臣

第二十表該當ノ分

骨付生獸肉	日額	一三五瓦
骨付生魚肉	同	一六〇瓦
黃 雙	旬額	二一〇瓦
鹽	同	五五瓦

第二十表ノ二該當ノ分

無骨生獸肉	日額	一一〇瓦
無骨生魚肉	同	一二〇瓦
黃 雙	旬額	二三〇瓦
鹽	同	五五瓦

○通 牒

官房機密第三〇九一號ノ六

昭和十六年七月十七日

海軍省副官

各廳長殿

郵便物ニ關スル件申進

内令提
要登錄

海軍公報(部内限) 第三千八百四十七號

昭和十六年七月十七日

九二五

1913

官房機密第三〇九一號通牒首題ノ件別冊郵便物取扱ニ
關スル例規中左記ノ通改メラレ候

記

- 一、目次中「艦船(艦船ヲ肩書トスル艦隊ノ各司令部ヲ含ム)宛郵便物差出方」ヲ「艦船(艦船ヲ肩書トスル艦隊ノ各司令部ヲ含ム)關係郵便物」ニ改ム
- 二、一頁第一號「艦船宛郵便物(軍事郵便ヲ除ク)差出」ヲ「艦船關係郵便物(軍事郵便ヲ除ク)ニ改メ出」トシ「左ノ如ク加フ、
- (四) 項ノ次ニ左ノ如ク加フ、
- (五) 内地ニ於ケル艦隊寄港地ニ入泊スル際ハ其ノ約一週間前ニ文書(速達)ヲ以テ寄港地所管地方遞信局業務部長宛入泊地在泊日數及隻數ヲ通知スルコト
- (六) 地方遞信局ニ於テハ關係郵便局ニ所要ノ増員ヲ行フト共ニ同郵便局ノ責任者(普通郵便局ニ在リテハ課長以上、特定郵便局ニ在リテハ局長)ハ艦隊側ト連絡スルニ付艦隊側ニ於テモ責任者ヲ定メ連絡スルコト
- (七) 艦隊側ヨリ寄港地及其ノ日時ヲ關係遞信局ニ内報セラレタル場合ニ限リ當該艦隊並ニ所屬ノ艦船及乗組員ガ其ノ寄港地ニ於テ差出ス郵便物及郵便

爲替ノ引受又ハ振出ニ使用スル物品ハ固定局名ニ代ヘ暗號局名ヲ表示スルニ付郵便物ハ艦隊又ハ各艦船ニテ取纏メノ上郵便局窓口ニ差出スコト

(八) 艦船(艦船ヲ肩書トスル艦隊ノ各司令部ヲ含ム)相互間宛郵便物ハ全部速達郵便トシ宛先所在地郵便局氣付トスルカ又ハ宛先所在地名ヲ肩書トスルコト

- 三、三頁(二)ノイ中「總テ佐世保郵便局氣付」及同(ロ)ノ(a)中「横須賀郵便局氣付」ヲ「各地名ヲ肩書トスル個有宛名」ニ改ム
- 四、五頁(二)ノ(ロ)ノ(a)中「東京中央郵便局氣付」ヲ「各地名ヲ肩書トスル個有宛名」ニ改ム

兵備三機密第六七九號

昭和十六年七月十七日

海軍省兵備局長

各艦隊

各鎮守府

各要港部

海軍警備府

參謀長殿

呼出符號等ニ關スル件申進

各參謀長宛電報通知ノ海軍無線交信規程附錄第二海軍無線交信用呼出符號應(職)名符號表ニ對スル鉛筆記

入ハ左記ニヨリ之ガ周知方取計ハレ度

記

一、至急通知ノ要アル向ニハ當該電報轉電ノコト
二、右以外ニ對シテハ所要事項ノミ適宜文書通知ノコ

ト
但シ

右通知ハ電報寫ノ形式トセザルコト

(二)(一) 中央ニテハ大約一ヶ月ニ一回宛追加貼附紙ヲ作

成文庫ヲ通ジ一般ニ送付ス

從テ遠隔地ニ對シテハ二乃至三ヶ月ヲ要スルコト
アルベシ

○ 辭 令

海軍令部出仕海軍大尉 丹生 正孝

第四部第十課勤務ヲ命ス(陸軍令部)

海軍技師 山田 三人

海軍航空本部航空事故研究調査會委員ヲ命ス(陸軍令部)
海軍航空本部)

○ 雜 款

○將旗復歸

第三遣支艦隊司令長官ハ七月十四日將旗ヲ磐手ヨリ陸
上廳舎ニ復歸セリ

○事務所撤去

伊號第二十一潜水艦艦裝具事務所ヲ七月十五日撤去セ
リ

1915

○艦船所在 指定ヲ要セズ

○七月十七日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍埼▲、山城▲、陸奥▲、勝力▲、駒橋▲、
多摩、赤城、香椎

澤風

伊八▲

(翔鶴)▲、(津輕)▲、(伊二三)▲、(伊三三)▲

【長浦】

伊嵐▲、萩風▲
呂六一▲、呂六二▲、伊二一

尻矢

哨一▲、哨二▲

【石川島】

(驅潜一七)▲

(驅潜一八)▲

【横濱】

綾波

(筑紫)▲

(秋雲)▲

【浦賀】

濱風

石垣▲

驅潜一五▲、驅潜一三▲、驅潜一四▲

哨三四▲、哨三五▲

【大湊】

大泊

北上▲

淺間▲、八雲▲、千代田▲、鬼怒、

熊野、三隈、最上、鈴谷

吳竹▲、早苗▲、若竹▲、夏潮、黑潮、

峯雲、夕立、舞風

呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊五三▲

【大阪】

國後

(伊七六)▲

(日進)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲

【神戸】

驅潜二一▲

伊一二一▲

瑞鶴▲、(伊良湖)▲、(伊一〇〇)▲、(伊二五)▲

(伊三三)▲、(伊四一)▲、(伊一一)▲

【相生】

(驅潜一九)▲

(驅潜二〇)▲

哨三一、哨三二、哨三三

吾妻▲、大井▲、木曾、龍田

薄雲▲

呂三四▲

哨三六▲、哨三七▲

夕雲▲

能登呂

那智

松風▲、春風▲、(朝顔)▲、芙蓉▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲

呂六〇▲、伊五九▲、伊六〇▲

驅潜一六

哨三八

【下松】

佐世保

伊五四▲、伊五五▲、伊五八▲、伊一二二▲

伊七四、伊七五

掃一七▲、掃一八▲

驅潜五一▲、驅潜五二▲、驅潜五三▲

哨四六▲

海軍公報(部内限) 第三千八百四十七號

昭和十六年七月十七日

九二九

1916

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千八百四十八號

海軍大臣官房

昭和十六年七月十八日(金)

○ 令 達

官房第三八八八號

昭和十五年官房第五三三三號中左ノ通改正ス

昭和十六年七月十八日

海 軍 大 臣

別表中「七月乃至昭和十六年三月」ノ欄ノ下ニ左ノ一欄ヲ加フ

四月乃至六月
〇、四〇
〇、三〇
〇、一五
〇、一〇

附 則

○ 通 牒

本令ハ昭和十六年四月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

官房第三八八九號

昭和十六年七月十八日

海 軍 省 副 官

關係各廳長殿

休暇及執務時間ニ關スル件通牒

本年海軍各廳ハ大正十一年閣令第六號ノ休暇及著中(土曜日ヲ除ク)半休ハ之ヲ爲サザルコトニ定メラレ候

(諸例則卷一、七九三頁參照)

兵備三機密第六八六號

昭和十六年七月十六日

海 軍 省 兵 備 局 長

關係各廳長殿

航空寫真原版ノ取扱ニ關スル件申進

飛行機ニ依リ撮影セル地上寫真ハ水路部ニ於ケル兵要

海軍公報(部内限) 第三千八百四十八號

昭和十六年七月十八日

九三一

1918

各種圖誌調製資料トシテ有効ニ利用シ得ルモノト認メ
ラレ候ニ付貴方ニ於テ用済ノ原版ハ之ヲ水路部宛送付
ノコトニ取計相成度
追テ右原版ハ水路部ニ保管セシメラレ候

○ 辭 令

第七海軍軍用郵便所員ヲ免ス(海軍省) 通信書記 奥 新太郎

電纜敷設艇大立審議委員ヲ命ス(海軍艦政本部) 海軍大佐 堀江 義一郎(艦本)

海軍少將 高須 三二郎(艦本)
海軍中佐 藤 本 傳(艦本)

(各通) 同 入江 達(伊三潜)
同 渡邊 薰雄(航本)

海軍大尉 當山 全信(伊三潜)
海軍機關中佐 二見 伸一(横廠)

伊號第二十一潜水艦審議(航空關係)委員ヲ命ス
海軍機關大尉 山本 輝義(伊三潜)

(各通) 海軍機關大佐 俣賀 紀六(艦本)
海軍造船中佐 加藤 恭亮(同)

軍艦翔鶴審議委員ヲ命ス

○ 雜 款

(各通) 海軍機關大佐 山口 信助
海軍造船中佐 西島 亮二
軍艦翔鶴審議委員ヲ免ス(以上同)

○代將旗移揚
第二十三航空戰隊司令官ハ七月十五日代將旗ヲ第九航
空基地ニ移揚セリ

○司令潜水艦變更
第二潜水隊司令ハ七月十二日司令潜水艦ヲ伊號第二十
潜水艦ヨリ伊號第十八潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先
當隊宛郵便物ハ自今左記ニ依リ發送相成度

記 司令、軍醫長宛 雁
隊機關長、主計長宛 雜
尙司令宛ニシテ直接各艇ヘモ關係アルモノハ各艇
長宛寫送付相成度 (第十一水雷隊)

當隊宛郵便物ハ自今左記ニヨリ發送相成度
記

<p>司令宛 伊號第十八潜水艦 隊機關長宛 伊號第十九潜水艦 追テ伊號第二十潜水艦ニ關係ノモノハ同艦宛直送 相成度 (第二潜水隊)</p>	<p>○隊務開始 當隊志樂分遣隊七月十五日東舞鶴市字安岡ニ開隊隊務ヲ開始セリ 追テ郵便物ハ當分ノ間舞鶴海軍通信隊本隊宛送付相成度 (舞鶴海軍通信隊)</p>	<p>○事務所撤去 舞風艦裝具事務所ヲ七月十五日撤去セリ</p>	<p>○特務艦襟裳行動豫定變更(本月十六日) 地名 着 發 佐世保 七月二十二日 吳作業地 九月十一日</p>	<p>○特設運送船金龍丸行動豫定變更(本月十日) 地名 着 發 吳 七月十三日 七月十六日</p>
				<p>神戶 十七日 横須賀 十八日 大湊 二十三日 横須賀 二十七日 佐世保 三十日</p> <p>十七日 二十一日 二十五日 二十八日</p>

海軍公報(部内限)第三千八百四十八號 昭和十六年七月十八日

九三三

1920

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○七月十八日午前十時

【横須賀】春日▲、劍崎▲、山城▲、陸奥▲、勝力▲、駒橋▲、
多摩▲、赤城▲、
澤風▲

伊八▲
伊三三▲
伊三七▲
伊三三▲
伊三三▲

【長浦】萩風▲

呂六一▲、呂六二▲、伊二二

哨一▲、哨二▲

尻矢

【石川島】(驅潜一七)▲
【鶴見】(驅潜一八)▲
【横濱】綾波▲
【筑紫】▲
【秋雲】▲

【浦賀】(秋雲)▲

【館山灣】濱風▲

呂一五▲、驅潜一三▲、驅潜一四▲

哨三四▲、哨三五▲

【吳】北上▲、淺間▲、八雲▲、千代田▲、鬼怒、
熊野、三隈、最上、鈴谷

呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊五三▲

伊五四▲、伊五五▲、伊五八▲、伊一二二▲

伊七四▲、伊七五▲、掃一七▲、掃一八▲

驅潜五一▲、驅潜五二▲、驅潜五三▲

哨四六▲

日進▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲

伊七六▲

國後

伊一二一▲

瑞鶴▲、(伊良湖)▲、(伊一〇)▲、(伊二五)▲

伊三▲、(伊四)▲、(伊一二)▲

驅潜一九▲

哨三一▲、哨三二▲、哨三三▲

吾妻▲、大井▲、木曾、龍田

薄雲▲、呂三四▲

海軍公報(部内限) 第三千八百四十八號 昭和十六年七月十八日

九三五

1921

